

催吐リスク High(apr)

肺 (CPT60/d1,8,15+CDDP60/d1)c28d

薬剤名	投与経路	投与量	希釈液	点滴時間(分)	投与日(day)
アプレピタント	内服	125	mg		1
			mg		
デキサメタゾン	注射	9.9	mg		1,8,15
パロノセトロン	注射	0.75	mg 生食	100 mL 30	18,15
イリノテカン	60	mg/m2	5%糖液	250 mL 90	1,8,15
シスプラチン	60	mg/m2	生食	500 mL 60	1
				mL	
				mL	
				mL	

## 内服薬

アプレピタント 80mg 分1 朝食後 day2,3

デキサメタゾン 8mg 分2 朝昼食後 day2,3,4

オランザピン 5mg 分1 眠前 day1,2,3,4

## 投与基準等

Ⅱ. 投与基準 (例:白血球 $\geq 2000/mm^3$ 、好中球 $\geq 1000/mm^3$ )

PS0~2、WBC 3000 以上、Plt 10 万以上、発熱なし、重篤な腎機能障害、下痢がないこと

Ⅲ. 減量基準 (例: Grade3 以上の好中球減少時、次回より投与量を80%に減量)  
grade3 の WBC 減少は20~25%減量

Ⅳ. 重大な副作用 (例: 好中球減少 Grade3 以上37.5%)  
骨髄抑制、間質性肺炎、下痢、腎不全